

4. 90点技能時間

時間技能を通し評価するためには課題に対する90点技能時間を算定せねばならない。そのためには課題の作業分解が必要である。

国際大会において、第1位となった選手は荒削りを部品番号④、⑤、⑥、②、③、①の順に行なった。これは外径の大きさの順であり、④～③はすべて穴あけ作業を含み、①は穴あけ作業を含まない。また仕上げ削りは①、②、③、⑤、④、⑥の順に行なった。これは軸基準による作業順であり、大体組立て順になっている。このような作業順は能率的に課題を完遂するために最も好ましいと思われる。

付表3に、エキスパートが作成した国際大会の課題に対する作業分解を示す。

その他の大会の課題についても同様に作業分解を行ない、これらについて作業時間を算定した結果は表9に示すとおりである。

表9 90点技能者の作業時間

単位 h, m

大会		時間	技能	機械	作業
国際			2, 32.2	0, 36.6	3, 8.8
全国			3, 55.7	1, 19	5, 14.7
総訓	※昭42年度		0, 45.4	0, 18.3	1, 0.1
	昭43年度		0, 38.8	0, 9.5	0, 48.3

注 ※は高速度鋼バイト、その他は超硬バイト使用